

平成16年度

徳島県介護支援専門員協会設立総会
特定非営利活動法人

徳島県介護支援専門員協会設立総会
開催

平成16年6月20日ウエルシティ徳島にて、平成16年度定期総会および特定非営利活動法人徳島県介護支援専門員協会設立総会が開催されました。

総会では大塚会長より今までの任意団体としての協会を16年度いっぱい継続し、平成17年3月31日をもって解散し、NPO法人へ移行する旨を説明され、正式に決定いたしました。また、設立総会では法人設立の趣旨を述べられ、今後は介護支援専門員のみならず、一般の方々にも役立つ事業を行ってきたいと今後の抱負を述べられました。



事例検討会・研究発表会開催

平成16年6月20日、平成16年度定期総会および設立総会終了後、昨年より開催しました研究発表会に加え、事例検討会を開催いたしました。今回は2例の事例と1題の研究発表があり、座長の武久副会長を中心に利用者のためにケアマネジャーとして何をすべきか、どこまで介入したらいいのかなど質疑応答が繰り広げられました。また、研究発表会では土成町在宅介護支援センターの大串恭子さんより「ケアマネジャーとして大切にしていること」と題し、近隣のサービス提供事業所同士が集まり開催している“地域福祉ネットワーク実務者レベル会議”の状況について発表され、利用者により良いサービスを提供するためにもまずはサービス提供者同士が顔を合わせ、お互いを理解していく事が大事であるといわれました。

事例検討会や研究発表会は来年以降も継続して行いたいと考えております。ぜひ皆様事業所で、施設で日頃取り組まれている事、実際に起こった困難事例を発表してください。お申し込みお待ちしております。



設立趣旨書

1. 趣旨

介護支援専門員は、この高齢化社会の日本において、平成12年4月の介護保険制度導入に伴い創設された資格である。

介護支援専門員は、「要介護者などからの相談に応じ、要介護者などの心身の状況に応じた適切なサービスが利用できるよう、市町村や居宅サービス事業者、介護保険施設などに調整を行うもの」であって、「要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門知識及び技術を有する者」である。いわば介護支援専門員は介護保険制度運用の要となる。

介護支援専門員は保健・医療・福祉のいろいろな職種（医師・歯科医師・保健師・助産師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・社会福祉士・介護福祉士・歯科衛生士・栄養士など）がある一定期間の実務経験を経てその資格を取得し、介護支援という共通したひとつの目的に向かい専門の業務を担う。そして利用者に最適な介護支援サービス計画を作成するためには、身体や精神状況だけでなく、社会的環境等、様々な情報が必要となる。また、さまざまな職種がその資格を取得しひとつの業務を行うため、もとの職種により物事に対する捉え方や考え方も様々である。

そこで、介護支援専門員としての職業倫理の向上、専門的教育・研究などを通して、専門性資質の向上、また、介護保険に関する知識・技術の普及とともに、保健・医療・福祉の増進に寄与するための活動を協力し合い勉強してきた。

介護保険制度導入後4年が経過したが、介護保険利用者が導入開始の平成12年には9,759人であったが、平成15年12月現在、21,938人と増加の一途を辿っている。それにも拘わらず、実務に携わる介護支援専門員は、平成16年4月1日現在わずか688人で、ニーズに十分対応するには、少な過ぎるのが現状である。その様な中で、今後更に介護支援専門員の人員確保や要望に対応した効果的、効率的サービスの提供など介護支援専門員は今後ますますその力量と質が問われている。

平成15年には、これまでの活動が県に認められ、県の委託事業を当協会を受託する事となった。しかし、これ以上個人の任意団体として活動するには限界があり、県の委託事業受託の際に、徳島県保健福祉部長寿社会課より法人化について推奨された。しかし他の法人格を取得するには時間と多額の費用を要するため、特定非営利法人化を望むものである。

今後の活動は、従来の専門職を対象としたもののみならず、一般市民に対しても介護保険制度の普及啓発及び情報提供に取り組んでいきたい。

徳島県介護支援専門員協会平成16年度事業計画スケジュール

	運営	学術	業務	施設	広報
8月					協会ニュース第11号
9月			西部地区オープン相談会（9/19日）	施設ケアマネ研修会	
10月	一般公開講座			施設見学会（一般/専門）	
11月		学術研修セミナー	徳島地区オープン相談会（日時未定） 徳島県健康福祉祭ふれあいフェスティバル参加（11/27～29）		
12月	初任者研修				
1月			南部地区オープン相談会（日時未定）	施設ケアマネ研修会	
2月					協会ニュース第12号
3月	講演会				